



もっとつながる、
もっとひろがる。

アンデスの 響きの

平成25年度 茅野市民館主催事業

世界の音楽

響き

八ヶ岳のふもとに響く、哀愁のフォルクローレ

2013年11月30日[土] 開演14:00 (開場13:30) 茅野市民館 コンサートホール

チケット料金 前売：一般2,500円、高校生以下1,000円 (当日各300円増)

【全席自由】茅野市民館友の会：一般2,300円、高校生以下900円

チケット発売日 2013年10月2日[水]

主催 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

助成 平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

後援 茅野市、茅野市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ (7紙)、FM長野、エルシーブイ株式会社

株式会社長野こまち、株式会社まちなみカントリープレス、月刊ぶらざ、JR東日本 長野支社、信州諏訪農業協同組合、諏訪地方観光連盟

株式会社信販販売センター、EVENT-NAGANO

チケット取扱 茅野市：茅野市民館、NPO法人サポートC事務局 (茅野市民館内)、シマダヤ楽器店、ベレックLCV、平安堂茅野店

富士見町：今井書店ふじみ店 / 諏訪市：平安堂諏訪店 / 岡谷市：笠原書店本店 / 松本市：松本井上プレイガイド、ミュージックプラザオグチ松本駅前店

インターネットチケット取扱 EVENT-NAGANO (<http://event-nagano.net/>)

問い合わせ 茅野市民館 Tel 0266-82-8222 Fax 0266-82-8223 <http://www.chinoshiminkan.jp>

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 (火曜休館、受付時間9:00~20:00)

出演 **ハタリ・インカ**



平成25年度 茅野市民館主催事業
世界の音楽

アンデスの響き

八ヶ岳のふもとに響く、哀愁のフォルクローレ

「コンドルは飛んで行く」「花祭り」などの名曲で知られる、ラテンアメリカの民族音楽（フォルクローレ）は、古くからの文化と、スペイン、ポルトガルの支配を受けた16世紀以降の文化が融合した、“混血文化”から生まれました。

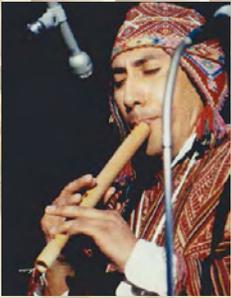
ケーナ、サンポーニャなど先住民系の楽器と、ギター、チャランゴなどの楽器による素朴な2拍子や華やかなワルツ。アフリカ黒人文化の影響による力強いリズムも加わり、バラエティーに富んだ魅力的な音楽です。

古代文明の栄えたアンデス山岳地帯の豊かな自然と、歴史のなかの人々の暮らし。喜び、悲しみ、素朴さ、優雅さ……さまざまな混交から生まれた哀愁の音色を、ペルー出身のミュージシャンを中心にしたグループ「ハタリ・インカ」が、八ヶ岳山麓の茅野の地に響かせます。



ハタリ・インカ Hatari Inka

ペルーで活躍したグループ、アルパマヨの元リーダーであるルイス・リオスによって、1993年に結成。初期のハタリ・インカは、ルイス・リオスの親しい友人たちや、ペルーでもともと音楽活動をしてきたメンバーによって構成されていました。この頃の地道な活動によって、ルイス・リオスは少しずつグループのスタイルを確立。アンデスの楽器を使った自作曲から世界的に有名な曲まで、幅広く演奏を行っています。 www.hatariinka.jimdo.com



ルイス・リオス

Luis Rios
(ケーナ、アンターラ、サンポーニャ、その他)
ペルー・アンカッシュ県ワラス出身。
オーストリア（ウィーン）滞在中には、アジア・ツアーのためのグループ「マルカワシ」を結成し、来日公演。その後日本において「ハタリ・インカ」を結成し、現在活動している。



リッキー・ロドリゲス

Ricky Rodriguez
(チャランゴ、ギター、その他)
ペルー・アルキバ出身。
来日した時、ルイス・カルロスと出会いデュオで活動を始める。その後、「ロストレス・アミーゴス」を結成する等幅広く活動している。



イリチ・モンテシーノス

Ilich Montesinos
(ギター、その他)
ペルー・アヤクチョ県アヤクチョ出身。
日本においてグループ「アウキス」を結成し、活動した。現在は、ソロでコンサート活動等もしている。

みやもとようこ

Yoko Miyamoto
(パーカッション、その他)
熊本県熊本市出身。
グループ・カンタティのケーナ教室でフォルクローレと出会う。以来、カンタティのエルネスト河本、島田静江に師事。その後、パーカッションist石川雅康に師事。フォルクローレのグループとパーカッションのグループで同時にゆるっと活動している。

たくらなおみ

Naomi Takura
(ヴァイオリン、その他)
東京都出身。
幼少よりクラシックヴァイオリンを習い、大人になってからクラシックピアノを始めた。ケーナを通して南米の音楽に魅せられ、再びヴァイオリンを手にして活動している。



ケーナ Quena

ケーナという神秘的な楽器は、インカ時代の人々の音楽を代表する楽器であり、ペルーの共同体の精神世界を反映するものといえます。
ケーナは現在、ペルーや、ボリビア、エクアドル、チリ北部、アルゼンチン、ベネズエラ、ガイアナだけではなく、世界中で演奏され、愛されている楽器です。



サンポーニャ Siku

竹や葦の閉管を使った笛です。英語ではパン・フルートと呼ばれるこの笛は、スペイン語でサンポーニャ、アイマラ語でシーク、ケチュア語でシーク及びアンターラ、と呼ばれています。元々メロディーをリードするIRA（イラ：オス）とそれをサポートするARKA（アルカ：メス）を二人一組で演奏していましたが、最近では一人で演奏することが多いです。



チャランゴ Charango

アンデスのフォルクローレで使われる独特の弦楽器ですが、歴史的には不明な部分が多い楽器です。木から削りだす手間を省くために、胴の部分にアルマジロの甲羅を流用したのもあり、多くは木彫りが主流。

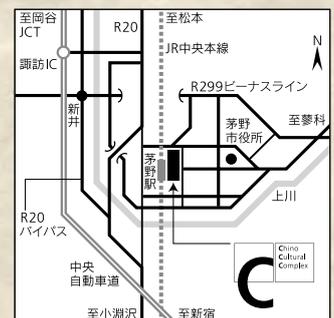
テキスト：ルイス・リオス

この企画は、市民提案事業です。

茅野市民館では、「市民一人ひとりが主人公になれる場」として、文化複合施設の特性を生かした〈鑑賞〉〈普及育成〉〈創造〉〈交流〉に関するさまざまな事業企画の提案を市民から募集し、実現しています。

茅野市民館

<http://www.chinoshiminkan.jp/>
〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号
Tel 0266-82-8222 Fax 0266-82-8223



■ JR中央本線 茅野駅下車、東口直結
■ 中央自動車道 諏訪ICより車で約12分

同時開催

中田秀一
「インカの道を歩く」
写真展



Photo: Syuichi Nakada

アンデスの遺跡、自然、そこに暮らす人々に魅せられた中田秀一「インカの道を歩く」写真展を、コンサートホールロビーにて同時開催します。